

Information★学校紹介

家族滞在施設

クラブ・サークル | 「三重ファミリールーム」ボランティア活動

「三重ファミリールーム」は、厚生労働省慢性疾患患児家族宿泊施設整備事業の一環として建設されました。難病を持つ子どもたちとその家族や遠隔地より受診している子どもの家族が、一時でも病院を離れ、安らぎの時間をすごすことができる施設として、平成12年4月から開設しました。

私達ボランティアは、利用される方が気持ちよく使っていただけるように、週に一回清掃を中心にメンバーが交代で施設の維持管理活動を行っております。私達医学部看護学科学生と、骨髄バンク「勇気の会」の福島さん夫妻、「がんの子供を守る会」の方々が参加しています。これからも後輩たちとともに、この活動を維持・発展させていきたいと思っています。



ボランティアメンバーと指導教員▲



▼▲ボランティア活動の様子



代表 宝田 有加子
(三重大学医学部 看護学科 3年)



Information★スポット

運動の場 ～芝生グラウンド～

昼休みのグラウンドでの光景です。誰からともなく声がかかりサッカーが始まりました。グラウンドでは、暖かい季節になるとあちらこちらでサッカーやソフトボール、キャッチボールなど様々な活動が見受けられるようになります。晴れた空の下、友達と運動するのはとにかく楽しく、心地よい汗が頬をつたいます。また、いつの間にか人数が増え、知らない人たちと運動していることもあります。それが運動のすばらしくもあり、不思議なところだと思えます。

日頃運動不足の方も気の合う仲間同士で声をかけあい、体を動かしてみたいかでしょうか。良い気分転換や健康維持になると思えます。

加藤 良明(三重大学生物資源学部 共生環境学科)



▲本館長旧宅



▼松阪商人の館(旧小津清左衛門家)



▼長谷川邸



▶のれん旧小津清左衛門家

松阪は江戸店持ちの伊勢商人を輩出した土地です。彼らは木綿を主力商品として、販売を行う江戸の店を番頭に差配させ、主人は松阪の本宅で常住していました。本宅が置かれた松阪の本町や魚町の帯は、風格のある町並となっております。

「松阪商人の館」として公開されている、旧小津清左衛門家は伊勢商人本宅の代表例。うだつの上がる表構えや、土間の豪壮な梁組を見ると、伊勢商人の存在が実感できます。小津家の流れを引く国学者本居宣長も、この界隈に居を構えていました。スケールの大きな経済活動は、文化や学問への関心をも育んでいったのです。

菅原 洋一
三重大学創造開発研究センター 助教

歴史街道シリーズ

伊勢商人の町並



三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンの創刊を企画しています。各種行事、教育研究活動上のトピックスなど“三重大”に関する情報を広く学外に紹介していきます。

多くの方々からのご意見・ご提言もいただき、地域とともに発展していく大学を目指していきたいと考えています。皆様のご登録を心からお待ちしております。

メールマガジン発行のお願い

★★★★★登録方法★★★★★

メールのタイトルに『メールマガジン希望』と記入の上、皆様がお持ちのメールアドレスを下記アドレスまで発信してください。

koho@ab.mie-u.ac.jp
(三重大学総務部広報チーム)

本誌お問い合わせ先

三重大学総務部広報チーム
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789
FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp
*ご意見をお寄せください。

三重大 X [えっくす] vol.6

平成18年6月1日発行
●発行/三重大学広報委員会
●編集/三重大学広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。